

5/23  
土

### 社会福祉と福祉の違い:あなたの実践はどっち?

社会福祉という言葉は、広く一般に浸透しています。しかし「福祉」と言ったり「社会福祉」と言ったり、あなたはどんな基準で使い分けていますか。あるいはまったく意識せず、なんとなく使っていませんか?仮に、同じものならば一つの言い方でよいはずですが、二つあるのは、違うからです。あなたの福祉実践はどっちに含まれるのか、考えてみましょう。

第1回



まつばら こういちろう  
松原 浩一郎(社会福祉学科 教授)

天理大学人文学部社会福祉学科教授。社会福祉士。北星学園大学大学院社会福祉学専攻修了。2024年4月天理大学に着任。専門は社会福祉史、社会福祉原論、宗教社会福祉論、社会福祉士実習教育など。近年は、「民生児童委員」の前身である「方面委員制度」の研究に注力しています。

5/30  
土

### 不登校と思春期の子どもの心の成長

学校に行かない子どもたちは年々増え、2024年度、初めて35万人を超えました。不登校は特に思春期に増えますが、子どもたちは適切な支援があれば、元気になり、やがて社会的に自立していくことが多いです。「学びの多様化学校」での取り組みも踏まえ、子ども理解の視点や適切な支援の在り方について考えます。

第2回



ちはら まさよ  
千原 雅代(心理学科 教授)

公認心理師・臨床心理士。博士(教育学)。日本心理臨床学会代議員。日本遊戯療法学会編集委員会委員長、日本臨床心理士資格認定協会全国研修委員他。学びの多様化学校で主任カウンセラーを務め、発達障害を含む不登校の保護者および子どもへのカウンセリングやSC業務を研究テーマとしています。

6/6  
土

### 拡張する公共図書館:文化的コモンズとしての交流の場

公共図書館は「本を借りる静かな場所」から、人と人、知と経験が出会う「文化的コモンズ」へと拡張してきています。自宅でも職場でもない「第3の居場所」としての価値や、まちづくりの核としての役割を紐解き、人生100年時代を豊かにする「知と交流の拠点」として捉え直し、市民一人ひとりが関わる意義と、図書館の活かし方を考えます。

第3回



やまなか ひでお  
山中 秀夫(社会教育学科 教授)

附属天理図書館副館長 博士(学術)。2004年10月から1年間英国ケンブリッジ大学客員研究員。専門は図書館情報学、社会教育学。和漢古書資料の書誌情報の組織化に関心がありましたが、近年は地域の文化資源の記録・共有と文化的コモンズとしての図書館について関心があります。

6/13  
土

### 宗教からみたアメリカ大統領選挙

近年、アメリカ大統領選挙における福音派と呼ばれるキリスト教プロテスタント保守派の影響力の大きさが、日本においても注目されるようになってきた。アメリカは政教分離を国是として定めた史上初の世俗国家だとされることもあるが、政治と宗教は非常に密接な関係にある。講座では、最近の大統領選挙を宗教の視点から概観し、その傾向を整理したい。

第4回



さわい じろう  
澤井 治郎(宗教学科 准教授)

天理大学付属おやさと研究所兼任研究員。東北大学大学院文学研究科博士後期課程修了(博士(文学))。専門は、現代アメリカ宗教思想、天理教学。20世紀以後のアメリカのキリスト教神学者の思想を社会や政治との関連で研究しつつ、天理教の「お道」と呼ばれる伝統について研究しています。

6/20  
土

### お墓で転ぶとどうなる?—猫と人の俗信研究事始め—

民俗学が研究しているまじないや禁忌といった俗信、つまり何気ない身近な信仰は、私たちが無意識に伝えてきた伝統的な考え方や文化を知る手がかりになります。そういった俗信のなかから、お墓での人のふるまいと猫に関する不思議な言い習わしを取り上げて、その興味深い分布と地方的な特色、背後にある民間信仰や伝説を探ります。

第5回



さいとう じゅん  
齊藤 純(歴史文化学科 教授)

博物館学芸員を経て天理大学教員。専門は日本民俗学、特に伝説を中心とする民間説話と民間信仰。著書・論文に「どうして桃太郎に出生地があるのか?」小長谷有紀編『大きなかぶ』なぜ抜けた?—謎とき世界の民話』、「大蛇と法螺貝と天変地異」小松和彦編『禍いの大衆文化 天災・疫病・怪異』等。

6/27  
土

### 一音節名詞ア・イ・ウ・エ・オ

例えば一音節名詞カの場合は、カ(蚊)はそのまの形で生き残り、他のカは、「カ(鹿)→シカ(鹿)」、「カ(香)→カカリ(香)」等のように二音節以上の語に形を変えます。では、一音節名詞ア・イ・ウ・エ・オは、それぞれ何がそのまの形で生き残り、何が形を変えたのでしょうか?「国語学」という古代日本語を研究する学問に触れてみて下さい。

第6回



はちや まゆみ  
蜂矢 真弓(国文学国語学科 准教授)

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了(博士(文学))。大阪大学大学院文学研究科助教、京都ノートルダム女子大学国際言語文化学部国際日本文化学講師を経て、2024年より現職。専門は国語学。時代が下ると共に古代日本語が歴史的に変遷して行く様相について研究しています。

#### 締切 ※すべて必着

第1回 5/9(土) 第2回 5/16(土) 第3回 5/23(土)  
第4回 5/30(土) 第5回 6/6(土) 第6回 6/13(土)

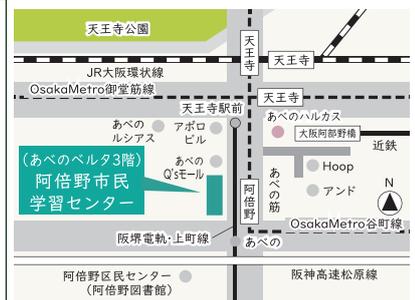
#### 会場・申込先・問合せ

##### 大阪市立阿倍野市民学習センター

指定管理者 一般財団法人大阪教育文化振興財団  
〒545-0052  
大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300 あべのベルタ 3階  
TEL: 06-6634-7951  
開館時間: 9:30~21:30(日・祝は 17:00 まで)  
休館日: 第1・3火曜日、年末年始(12月28日~1月4日)

#### 申込方法 ※各回ごとの申込が必要です

- 来館  
(返信用のはがきを申込講座数ご持参ください)
- 往復はがき  
①名前 ②住所 ③電話番号  
④講座名(例:「社会福祉と福祉の違い:あなたの実践はどっち?」)  
を明記し、申込先までご送付ください。
- インターネット  
「いちようネット」から講座・イベント  
講座名を入力し、検索結果からお申込みください。  
上記の各二次元コードからでもお申込みができます。



OsakaMetro 谷町線「阿倍野」駅下車7番出口方面から地下2階通路へJR・OsakaMetro「天王寺」駅、近鉄「大阪阿部野橋」駅から南へ500m

#### 【講座の開催中止について】

- 地震等により災害等が発生する恐れ、または災害等が発生した場合、本講座の開催を中止いたします。
- ①開催当日午前11時の時点で「大阪市」に「暴風警報」もしくは「特別警報(種類は問わない)」が発令されている場合。
- ②地震・災害等によりJR大阪環状線およびOsaka Metroの双方が運休している場合。
- 開催が中止となった場合には、センターのホームページ上でお知らせいたします。

■ご記入いただきました個人情報は、講座ご参加の確認や、講座に関するご連絡のためにのみ使用し、お申込みをもって使用に同意されたものとさせていただきます。

■事業者: 一般財団法人大阪教育文化振興財団

■個人情報の取扱い、苦情及びご相談に関するお問い合わせ先: 一般財団法人大阪教育文化振興財団 個人情報保護管理者 総務課長 宛 Tel: 06-4963-2527 (月~金 10:00~17:00)



●人文学部 ●国際学部 ●体育学部 ●医療学部

大学院 | 宗教文化研究科 臨床人間学研究科 体育学研究科

柚之内キャンパス  
〒632-8510 奈良県天理市柚之内町1050  
近鉄・JR天理駅から、バスで約8分、徒歩約20分

体育学部キャンパス  
〒632-0071 奈良県天理市田井庄町80  
近鉄・JR天理駅から、徒歩で西に約5分

別所キャンパス  
〒632-0018 奈良県天理市別所町80-1  
近鉄・JR天理駅から、徒歩約15分